

農業日和

感謝の三年間

三年生のクラブ員の皆さん、卒業おめでとうございます。多くの人とともに、教材であった農畜産物や施設、地域の方々への感謝も忘れないでください。

二月は大雪や例年になく、高温に見舞われましたが、そのような中でもクラブ員の皆さんは、日々の実習等を頑張っていました。本号では、東京での販売会と見学研修について掲載しました。みんなで共有しましょう。



農業クラブの公式マスコットキャラクター「のうくっく(お内裏さまバージョン)」(本校クラブ員が書いてくれました。)

農業クラブ

「ふくしま復興マルシェ」で開発商品などを販売

2月16日(金)～17日(土)に東京都港区白金台にある「八芳園MuSuBu」で開催された「ふくしま復興マルシェ」に参加しました。県内7校が参加し、今回は「トクしまフクしまGAPフェア」として徳島県のGAP食材とコラボしての実施でした。販売の呼び込みや商品説明以外にも、各校のGAPの取組状況を伝えるパネル説明や、お客さんにクイズ形式でGAPを学んでもらうクイズ大会も行われました。参加した食品科学2年の佐々木君は「県外の販売会は初めてでした。最初は緊張でお客さんに声を掛けられませんが、商品説明をすると購入いただき、新たな挑戦ができました。これからも参加したいです!」と楽しそうに話していました。



第50号
発行: 修明高校農業クラブ
令和6年3月1日

「八芳園MuSuBu」でGAPをPRして販売 ～福島県の農業高校生が運営～

<修明高校の販売物> ～これら販売物は、農業科の3学科が特色を生かし、日頃取り組んでいる実習で生産・加工・企業連携したものです～
中玉トマト(JGAP取得)、修明キムチ(こまや・吉野家ファームと協働)、修明玉こんにやく(大島屋蒟蒻店と協働)、落花生(棚倉幼稚園生と栽培)、ブルーベリージャム・リンゴジャム(棚倉産果実使用)



お洒落なお店が並ぶ、ガラス張りの「MuSuBu」



農業高校生の商品に「完成度が高い」と驚く方も!



新商品「修明キムチ」の特徴を丁寧に説明



GAPクイズも行われ、参加者にはGAP食材をプレゼント。農業クラブ員のみんなは分かるかな?

Q1. GAPの「G」は、何の略か? A. Good (良い) B. Great (偉大な) C. Grand (壮大な)	A
Q2. GAPは大きく分けて3つの項目によって審査されます。「食品安全」「労働安全」もう一つは? A. 地域創生 B. 環境保全 C. 家内安全	B
Q3. 福島県のGAP認証取得農場数は、全国何位か? A. 1位 B. 2位 C. 3位	C
Q4. 次のうちGAP認証が無いのはどれか? A. 穀物 B. 青果物 C. 草花	C
Q5. 必ずGAP認証農産物を使わなければならないイベントは? A. リッカーワールドカップ B. オリンピック・パラリンピック C. ワールドベースボールクラシック	B
Q6. 日本の農業高校で初めて、GAPの認証を取得したのは? A. リンゴ B. トマト C. 米	A
Q7. JGAPは、何年ごとに更新しなければならないか? A. 1年 B. 2年 C. 3年	B
Q8. GAP認証を受けるために、やらなくてもよいことは? A. 無農薬栽培 B. 収穫日の記録 C. 作業員の体調チェック	A
Q9. 日本で取得できるGAP認証は、何種類ありますか? A. 1種類 B. 2種類 C. 3種類	C



「木を育て、木を活用する」技術を学び、実際の機材を体験



木材の強度実験(何の力に耐えるか)。↓その様子を真剣に見守る

2月19日(月)郡山市にある福島県林業研究センター・林業アカデミーふくしまを見学研修しました。木材について講義を受けるとともに、ドローン操作・チェーンソー体験、ハーベスタシミュレーター体験、木材の耐久試験等、学校にはない林業専用の施設設備に触れ、規模の大きさに驚いた様子でした。

1年間かけ企画した商品を東京で販売 ~農業高校 経営マーケティングプログラム~

2月23日(金)15:00~20:00 オリンピック記念青少年総合センターにて、東京販売会のオリエンテーションと各班の商品紹介、POP作成研修がありました。参加生徒は修明高校3班のほかに、福島明成高校4班、相馬農業高校1班、ふたば未来学園1班、宮城県立小牛田農林高校1班の計37名です。



2月25日(土)7:30~20:00、全体を9班に分け輪番で販売しました。販売以外の時間は都内店舗ツアー(東京の食品小売店を見学し、販売物・価格の特徴を学ぶ)と、AITツアー(accentureのオフィスに伺い、企業を相手にしたコンサルの内容等について学ぶ)に参加。夕方からは決算発表準備を行いました。

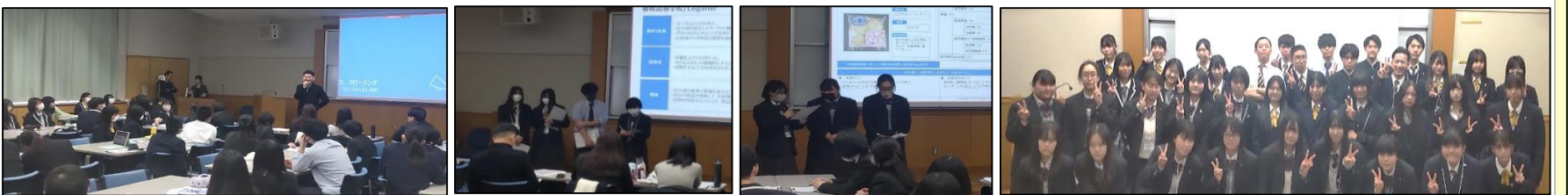


AITツアーでは、社員の方が詳しく楽しく説明してくれました。顧客である企業の「困りごと」を解消するため、新しいアイデアと先端技術を提供する現場を見学・体験し、驚きの連続でした。



焼き菓子、ジュース、シフォンケーキ、乾物、ビーシュガー、ブックカバー等を販売。4時間ほどですべて完売し、合計3万4千円程の売上でした。

2月25日(日)7:30~12:00、ゲストを招いて決算発表会を実施。各会社で黒字赤字がありました、「なぜ赤字なのか?」「もっと黒字にできなかったか?」等を製造時・販売時について評価し、ゲストからコメントをいただきました。決算と振り返りをしたことで、実際の商品企画がいかに難しいかを体験しました。



このプログラムは、(社)Bridge for Fukushimaが主催し、(株)accentureが講師を務め、農業高校生に商品企画のノウハウを伝えるものです。本校は今年度で4度目の参加ですが、来年度は食品科学科実験乳加工班・地域資源科2年生で実施します。この東京販売会には来年度取り組む2-3塩田希純さん・未純さんも参加し、「地元地域の特産品を活用し、製造・販売するのが、今から楽しみ」と話しました。



今後の予定

- ・3月 5日(火)~8日(金)生徒休業日
- ・3月19日(水)終業式
- ・3月29日(金)離任式
- ・4月 8日(月)始業式
- ・4月 9日(火)入学式

製作者より

これから、みんなが分かりやすい紙面作りを心掛けます!

